

生麦中だより

令和4年(2022) 7月【4号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamug>

ハーフタイムデー

～自分の立ち位置を考える～

学校長 山口 毅

つい最近知ったことですが、一年のちょうど半分となる6月30日を「ハーフタイムデー」と呼ぶそうです。7月に入っているわけですから、既に半分以上を過ぎたこととなります。一年の折り返しを意識して、半年の成果を振り返るよい機会でもあります。新年に今年の抱負や目標を立てたと思いますが、半年たった今、目標の進み具合はどうでしょうか。

ハーフタイムデーは、自分の立ち位置を考えるきっかけとして、とても役に立つと思います。7月に入り、今までの自分を自分で評価してはどうでしょう。4月からではなく、1月からの自分を振り返るのです。

そして、今ある自分の課題を見付け、さらにこれからの半年に向け、取り組みを再確認してみる。なりたい自分や目標にどのように近づけていくかを検討して実行する。年末に丁寧に振り返りをしたいものです。

これからの半年を想像して、新たな自分自身を磨く方法を考えていきましょう。

そのために、夏休み中も生活の基礎・基本を確認しながら、休み明けの学校生活につなげることができるよう日々の生活を重ねていきましょう。

「時を守り、場を清め、礼を正す」これは教育学者で哲学者でもある森信三(もり のぶぞう)さんの言葉です。「時を守り」とは、時間を意識することです。学校でも家庭でも誰もが時間を意識して行動し、約束された時間を守ることができれば学習に集中することにつながります。時間でリズムよい生活ができれば、心にゆとりを持ちながら生活を送ることができます。「場を清め」とは、身の回りを美しく整えることです。掃除を一生懸命行う人は、自分の心を磨くことになる。誰も気が付かない所を進んで掃除する人が増えれば、潤いのある生活・学校となっていきます。「礼を正す」とは、礼儀を尽くすことです。さわやかな挨拶は人の心を動かし人間関係を円滑にすることができます。時に明るい挨拶は人を元気にしてくれます。気持ちを込めた挨拶は、人との関係を深めることにつながります。

「時を守り、場を清め、礼を正す」という基礎・基本を少しずつ前進させ、家庭でも学校でも成長ある生活を送っていきましょう。



【2年 校外学習 鎌倉遠足】

スローガン 「いざ鎌倉へ ～ルールを守れる柱への道～」

6月21日(火)2学年が校外学習を行いました。当日は班別自主行動で、出発から決められたチェックポイントを通過して、各班が事前学習で決めたコースを周りました。鎌倉を訪れることにより伝統文化・伝統芸能への興味・関心・理解を深め、豊かな感性や創造性を育める機会としました。校外学習実行委員の皆さんの活躍で左の素敵な冊子を完成させ、学習に活用することができました。

「話し合いを重ね、時には意見が衝突することがあったかもしれませんが、そうした機会が人間的な成長につながると思う」と委員長言葉(冊子)で4組末吉さんは述べています。

この学習を実生活に生かすことを期待しています。

九州方面 修学旅行報告

6月21日(火)～23日(木)の日程で、九州方面修学旅行を実施しました。

生麦中学校の修学旅行は、以前より「平和学習」に焦点を当て実施していますが、そのとらえは「いのちの教育」というものです。

事前学習として講師を招き「平和講演会」を実施しました。自由に生きる権利を奪う戦争の悲惨さを知り、平和を守るための意義や大切さについて考え、自分の考えを持つことを学習しました。そして、「平和の尊さを知り、平和を求め続ける心をもてるようにする」ことをねらいとした修学旅行へ出発しました。



一日目は、羽田空港から長崎空港を経て、ハウステンボスを訪問しました。鮮やかなあじさいと石畳の雰囲気からヨーロッパの街並を体験しました。日本一広いテーマパークでゆっくりとした時間を持つと共に、友人の新たな魅力を見つけることができる時間となりました。

二日目は、平和公園を中心とした平和学習（平和セレモニーを開催し、千羽鶴を折鶴の塔に納めました。）その後、班別自主行動を行いました。

毎年8月9日には、私たちが訪れた平和祈念像前の式典広場で平和祈念式典が行われます。平和祈念像を中心に、平和の泉、世界各国から寄贈されたモニュメントなどを設置し、平和を願う場にふさわしい空間がそこにありました。

三日目は、クラス別に水族館や吉野ヶ里遺跡、科学館などで学習した後、太宰府天満宮を訪問し福岡空港から帰路に着きました。



旅行中での貴重な経験を通じて、3年生徒たちは人間的にひとまわり大きく成長しました。修学旅行の経験を通して、生麦中学校の子どもたちが自分の考えを保護者や地域の皆さんに伝える場

面があることと思います。

思いがつながり私たちが生活する地域がみなさんと共に育まれていくことを期待いたします。

救命救急法研修

7月6日(水)、本校体育館にて、救命救急法研修会を実施しました。当日は市消防局鶴見消防署総務・予防課岸谷消防出張所長 穂積様と署員の皆様を講師として、約60分の研修を行いました。

保健委員会の生徒と各運動部活動から代表者、教



職員グループに分け、AEDの取扱いと心肺蘇生法、傷病者の体位等について学びました。

119番通報して、救急車が到着するまでの約7分

間、傷病者に対して私たちは、何をどのようにすればよいのでしょうか。救急隊が到着するまでに心肺蘇生を施された場合の社会復帰率は格段と向上することは、実証済です。

AEDの扱い、呼吸の確認や心臓マッサージなど実践で学んだことは、安心・安全な学校生活、社会生活の基本となります。

研修で学んだ知識・技能を使わないことこそ、未然の事故防止となると考えます。参加された皆さんに感謝します。

国際平和スピーチコンテスト

6月27日(月)鶴見区よこはま子ども国際平和スピーチコンテストが開催されました。これは、鶴見区内10校の代表者によるスピーチコンテストでもあります。本校から代表3年 佐伯 凜さんが出場しました。

「つなごう 輪になろう」というタイトルスピーチは、絵本の翻訳ボランティア活動を通して知った、世界の厳しい学習環境、それぞれの国の人々の願いや「平和」について、自身の実践や思いを通して支援の輪を広げていきたいという内容です。

世界の子もたちが学校に通い沢山の「夢」を描ける社会の「実現を目指し、自分自身ができることを実践し、考えることを伝えてくれました。

自分が描いた絵本で皆を笑顔にする夢に向け、今後の活動実践に期待しています。

佐伯さんは、「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマとした横浜市本選に鶴見区代表として選出されました。

7月22日南公会堂で本選スピーチを行います。